

2025年4月18日

各位

株式会社 紀陽銀行

地域脱炭素実現に向けた取り組み ～和歌山市と株式会社バイウィルの連携協定締結について～

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は2024年7月に和歌山市（市長：尾花 正啓）と「和歌山市における脱炭素経営の支援に関する連携協定」を締結しておりますが、この度和歌山市が当行の連携協定締結先である株式会社バイウィル（代表取締役CEO：下村 雄一郎）と「和歌山市におけるカーボンニュートラルの取組に関する連携協定」（以下、本協定）を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本協定を活用することにより、当行を含めた3者にてJ-クレジットをはじめとした各種環境価値に関する情報共有化、事業の推進等の連携を強化し、地域におけるカーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミーの実現をめざします。

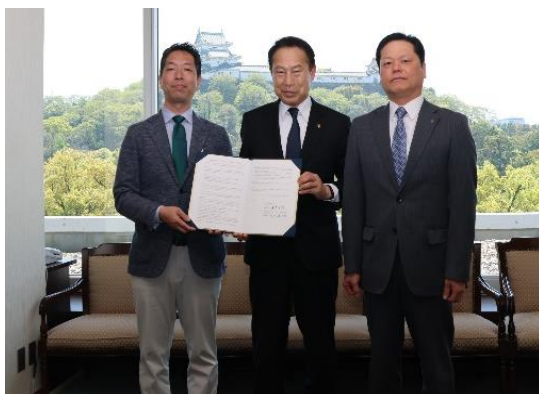
紀陽銀行は、今後も地方公共団体やさまざまなステークホルダーとの連携を強化し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

【協定内容】

名 称	和歌山市におけるカーボンニュートラルの取組に関する連携協定
目 的	J-クレジットをはじめとした各種環境価値に関する情報共有化、事業の推進等を通じて相互の連携を強化し、地域におけるカーボンニュートラルの実現に寄与することを目的とする
連携事項	（1）環境価値に関する情報・サービス・ノウハウ等の提供 （2）環境価値を活用した新たな脱炭素経営モデルの創出 （3）その他、本協定の目的を達成するため、和歌山市及び株式会社バイウィルが協議して必要と認めること

【締結式の様子】



株式会社バイウィル 和歌山市 紀陽銀行
 下村 雄一郎 尾花 正啓 溝淵 栄
 代表取締役CEO 市長 取締役常務執行役員

以上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」、ゴール13「気候変動に具体的な対策を」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。

